

# ○ 角 田 隆 一 郎

( 3 0 分)

【一括方式】

1 子どもの医療費について

- 安心して子育てができる環境を整備し、少子化、人口減少に歯どめをかけるための子どもの医療費の無料化について

2 中核市の成果について

- 中核市になり、新設された窓口の利用状況について
- 屋外広告物の対応については、経費と歳入の比較を確認し、未申請の屋外広告物の数（把握しているもの）と今後の対応と歳入の見込みについて

3 投票率対策について

- 下がる投票率を上げる対策について

4 祭りへの補助金について

- 市内各地区で行われている祭りに対する補助金への今後の考え方について

# ○ 林 健 二 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 森林整備について

今月7日閣議決定された、平成30年度版の森林・林業白書では、手入れの行き届いていない市有林の管理を、市町村を介して林業者や企業に集約化する森林経営管理制度についても言及、制度の中心となる市町村の推進体制をどう整えるのかを課題に挙げている。また、今年度から森林環境譲与税も開始されるなど、森林整備計画の充実は急務である。

- 市有林施業の現状と課題について
- 佐世保市有林管理要綱について
- 部分林分収契約の遵守と収益交付要綱の早急な整備について
- 中長期的視野での佐世保市森林整備計画策定の必要性について

## 2 展望所樹木管理方針について

市内18カ所に点在する市所有の展望所は設置目的等の違いにより、現在3部局で管理されており、それぞれ独自に眺望所管理と環境整備が実施されてきた。しかし、特に展望所樹木管理において一体的な戦略計画がないとの指摘を受け、部局間協議を経て、平成29年12月に「佐世保市展望所樹木管理方針」が策定された。今後の展望所の管理のあり方について、次の点について伺う。

- 樹木管理方針策定後の施設管理の現状と利用者の反応について
- 管理指針での展望所ランク分けの根拠（国立公園等）と樹木管理の定期管理ランクづけについて
- 展望台そもそもの設置目的、利用者の声、環境整備のあり方、有識者の意見も踏まえて、樹木管理方針を再考、充実すべきではないのか

### 3 行財政改革推進計画について

平成31年3月定例会で、行財政改革特別委員会の中間報告が行われ、「本計画の最終年度である令和3年度において、「収支不足の解消による健全な財政運営と行政サービスの安定的な提供」という基本目標を達成されるよう強く求める」と最後に述べられています。次の点について伺う。

- 普通交付税及び臨時財政対策債それぞれの合併算定替の推移と算定替効果額について
- 改革改善効果額における事務事業の整理合理化及び予算特別枠の見直し方法等の現状について
- 基金の活用に対する具体的改善効果と方針について
- 受益者負担基準の実質的な運用について

# ○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 「要望」、「意見」、「附帯決議」への対応について

委員会での審査時に付された「要望」や「意見」、「附帯決議」に対して、自後、当該部局として、あるいは全庁的に、いかに、フォローアップし、フィードバックを実施しているのかを問う。

2 佐世保市国民健康保険税の税率について

平成31年3月定例会に上程された「佐世保市国民健康保険条例の一部改正の件」について、文教厚生委員会より、「保険税率の伸びの抑制に努めることと合わせ、当該事業の安定的な財政運営のため、一般会計からの法定外繰り入れも含めた研究を行うこと」との要望が付された。また、加入者間における税率の不公平感も払拭出来ない中、本市の国保事業の現状をいかに評価し、文教厚生委員会の要望に対していかに対処していくのかを問う。

3 移住定住の促進事業について

先月18日付けの長崎新聞によれば、行政窓口を介した本県への移住者が2018年度は1,121人と、県が移住を推進し始めた2006年度以降、最多になったとのこと。中でも、本市は215人と県内で最も移住者が多かったとの由で、本市の移住定住促進事業は一定の成果を上げているものと解す。今後の本事業に関する方針と、取り組むべき課題について問う。

4 市民への火災情報等の提供について

本市は、消防団の出動が必要な火災が発生した場合には、防災行政無線を使用してサイレンを鳴らし、火災が発生した町名と出動する消防団の分団名を放送している。一方で、火災現場付近の市民に対しては、火災情報や避難等に関する必要な情報をいかに提供しているのかを問う。

# ○ 永 田 秀 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

## 1 路線バスの運行一体化後の状況について

4月以降、バスのダイヤ編成が西肥バスにより一括して行われているが、市民からは「不便になった」との声を聞く。運行一体化以前からバスの利便性向上に対する要望も多いが、それらも含めて現状をどのように把握し、今後どのように公共交通の維持・改善を進めていく考えか。

## 2 米軍基地の銃器管理対策について

5月9日に米兵が佐世保公園で自殺する事件が発生し、基地から無許可で持ち出した拳銃によるものと見られている。再発防止のためには徹底的な原因究明が求められるが、調査はどのように行われているのか。日米地位協定に沿った対応がなされているのか。市としても再発防止を求めているが、そういった確認は行っているのか。

## 3 医療人材の確保について

総合医療センターの看護師の確保状況は定数充足に近づいていると聞く。これまでの人員確保の努力に対しては評価するものの、休暇・休職者の実働人員を考えると一定の余裕が必要と考える。

直近の状況とこれまでの取り組みを確認した上で、当面の対応と今後の人材確保策についてお聞きする。

また、西九州させば広域都市圏の取り組みの中で地域医療の確保が連携事業となっていることから圏域での看護師を初めとする医療人材の確保についても市の考えをお聞きする。

# ○ 小 田 徳 顕 (15分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 石木ダム建設事業について

○ 強制収用について

2 IR事業について

○ 今後の見通しについて

3 米兵の拳銃持ち出しと米海軍佐世保基地の日本人警備員が基地外の公道を拳銃を携行した事案について

○ 日米地位協定の見直しの要望について